

第5回 第2次神崎市総合計画審議会 議事録

-
- 日時：2018年1月24日（水）14:00～16:00
 - 場所：神崎市役所 3-1 会議室
 - 参加者：（敬称略）
 - 【委員】 芦原、姉川、佐藤、野副、山本、吉原、副島、内村、古賀（俊）、中島、柳川、山田
 - 【事務局（企画課）】 宮地、鶴、篠木
 - 【ランドブレイン】 岩切、吉山 [記]
 - 欠席者：（敬称略）
 - 【委員】 福山、古賀（義）、江頭、平島、岸川
 - 内容：
 1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 議題
 - （1）基本構想（案）について
 - （2）基本計画（案）について
 4. その他
 5. 閉会
-

（以下議事録、敬称略）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

（1）基本構想（案）について

（委員）

P9 について。2010 年は平成 22 年なので修正をしてもらいたい。

（委員）

P22 から基本方針が掲載されているが、概要説明がすべて「目指します」で締めている。「注力する」「検討する」など、インパクトのある言葉にした方がいいものもあるのではないか。

（事務局）

基本方針として言葉を統一している。色々な表現が考えられるが、統一するかどうか、皆さまのご意見を伺いたい。

(委員)

P16 には「考えます」「進めていきます」等、様々な表現を使用している。文章に応じて表現を変えてもいいのではないかと思います。

(事務局)

事務局で全体のバランスを見ながら再度検討させていただきたい。

(委員)

この基本構想や基本計画はそもそも、誰の視点に立っているのか確認したい。「目指す」であれば市民全体の話になるし、「やります」であれば行政が取り組むことである。ただ、市民の声を拾ってみんなで作り上げた指針と計画ということであれば、断言でもいいのではないか。そういう考え方を踏まえ、文章を検討したほうが良い。

(委員)

全体的な流れとして、基本方針を目指すために基本施策が書かれている。何をやるべきか具体的な策が基本施策の中に書いてあると理解している。「やっていく」「進めていく」という柔らかな表現はどうか。現在の「目指します」は、行政任せではない、全体で取り組むという表現になっていると思う。

(委員)

他人事という感覚を持たれないよう、受け身でなく、自分事と感じられるような文章にした方が良い。

(委員)

基本方針は断言でいいかと思うが、すべてが断言できるわけではないので、神埼市の将来像に向かってみんなで取り組むのであれば、「目指しましょう」という表現はどうか。

(委員長)

他にふさわしい表現が見つかったら変更するというので、事務局に一任してよいか。

(一同)

異議なし。

(2) 基本計画 (案) について

(委員)

神埼市の歳入出表をつけてはどうか。事業を実施する上で、財政状況を示すことは大切なことである。

(事務局)

入れるのであれば P74 から P77 の間で掲載することは可能だが、その指標にどんな意味合いを持たせるべきか検討する。財政状況の動向、変化を示すのも一つの案である。

(委員)

基本構想の現況課題に入れてはどうか。

(事務局)

どこで載せてもおかしくはないと思うが、全体のレイアウトを加味すると、P12～13は主要課題を記載するページなので、課題として表現するのか、現状を示すための表になるのか、目的による。皆さんのご意見を伺いたい。

(委員)

主要課題を解決するために財政計画をあげるならまだしも、現状だけならあまり意味がないのではないかと。

(委員)

民間の事業では必ず予算を設定する。庁舎の新設計画など、常々数字が示されていないのではと感じていた。財政状況は見える化したほうが資料として活用しやすい。詳細にではなくとも、示した方がいい。基本計画の後ろに資料として掲載してはどうか。

(委員)

メインのテーマは「幸せ」である。「幸せ」を目指す上で、役所はお金がないという状況を明確にして、市民と行政が協働で取組まないといけないという方向に持っていくことはできる。

(委員)

基本計画の中で掲げるのであれば、将来像を考える必要がある。なかなかそれを見通せない部分もあるかと思う。

(事務局)

基本構想 P6 以降、市の概要の中で財政状況として示す形で記載することとする。

(委員)

財政シミュレーションはしていないのか。

(事務局)

財政課で中長期財政計画を示しており、それがおおまかな見通し。毎年ローリングで見直している。

(委員)

基本計画はあらゆる分野ですべてを実施するという記述になっている。すべてを行うのは財政的にも、人力的にも現実的ではない。事務局として、委員会として、何を優先的に進めるのかという議論の場はないのか。

(事務局)

それを踏まえ、かつ、ここには書かれていないほかに考えうる方針はあるかどうかも含め、ご意見を願いたい。

(委員)

これまで地域懇談会、市長と語る会、ワークショップなど、市民参加を進めてきたが、基本計画はあれもやる、これもやるという記述になっている。全市的にやらないといけない事業、得意分野を伸ばす事業などには印をつける等、優先順位を示してはどうか。

(事務局)

おおまかな体系しか表していない。この計画の中で優先順位をつけるのではなく、実施計画で予算と連動した形で示していきたい。実施計画は毎年立てた上で、3年間ローリング方式で見直しを行う。

(委員)

- ・P40 について。観光拠点の整備として王仁博士の話が出てきた後は「このほか」で一括りになっている。下村湖人の生家は千代田にあり、脊振出身の偉人もいるので、記述の仕方に配慮した方がいい。事業が動き出したものや、顕彰体制がしっかりしているものは先に打ち出していくなど、優先的に表現をしてもらいたい。
- ・神埼情報館のことは市民には知られていない。まずは現在既にあるものを中心に文章を組んだ方がよい。

(委員)

まち・ひと・しごと創生会議があったと思うが、国から自治体への交付金のリストはあるのか。国にあげる施策は優先順位を高くするという形でもいいのではないか。

(事務局)

平成 30 年度で実施する事業で交付金に該当するものは検討中である。現在拠点整備交付金で行っているのは王仁博士公園事業であるが、いつまで交付金が続くか、それまでに工期完了するのかは何とも言えない。基本構想 P3 にある通り、本計画は総合戦略との整合性を図るとしているが、総合戦略の計画期間は平成 32 年度までであり、同期間で事業も実施している。

(委員)

P30 の脊振のスクールバス運行費用の件。具体的に運用費の 1 人当たりの数字を挙げてはどうか。P32 の、市出身の偉人 3 名の名前が挙がっているが、脊振の偉人がいない。脊振の偉人を追加すれば違和感はなくなるのでは。

(事務局)

P30 は全面的に見直す。P35 はご指摘の通り配慮する。

(委員)

学校の横には必ず公民分館機能をつくる、図書館機能は学校の横につくる等、地域内で公共施設の機能を集約していくという考え方が必要ではないか。観光に関して、まとめて一つというように考えた方が、地域側としても楽なのではないか。

(3) その他

(4) 閉会